

日本勤労者山岳連盟 御中

要 望 書



YAMANASHI PREFECTURE 山梨県

4 0 0 8 5 0 1

世界遺産富士山課 山岳部担当 渡辺

甲府市丸の内一丁目6番1号 TEL(055)237-1111(内線 番)
—6—1 MARUNOUCHI KOFU YAMANASHI JAPAN

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/>



山梨県、静岡県

日頃より、山梨・静岡両県の観光振興につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、富士山観光の柱でもある富士登山につきましては、世界文化遺産として国内外から注目を集めており、開山期間における登山者数は、20万人を超えています。登山者に富士山の魅力を存分に楽しんでいただくためにも、これまで以上に安全で安心な登山環境の確保が求められております。

中でも、事前に十分な休息を取らずに夜通しで登山をする「弾丸登山」は、登山者の病気や怪我の原因となるとともに、登山道の更なる渋滞を招き、登山の安全を損なうおそれもあります。

これまでも、貴連盟に御協力いただくとともに、両県でも「弾丸登山」自粛を呼び掛けてきた結果、「弾丸登山」を行う者は減少傾向にありますが、未だ後を絶たないため、引き続き自粛を呼び掛けることが必要であると考えております。

また、両県では、落石や転倒、さらには突発的な噴火などに備えるためヘルメットの携行を推奨しており、ホームページなどを通じて促しているところであります。

併せて、安全で安心な登山環境の確保や富士山の環境保全の充実のため、五合目から山頂を目指す登山者を対象に「富士山保全協力金」制度を実施しているところですが、今年につきましても、多くの登山者の協力を得たいと考えております。

つきましては、貴連盟におかれましても、管下の団体・会員に対し、「弾丸登山」の自粛を含めた安全登山の推進について、周知徹底を改めて強く呼び掛けていただくとともに、「富士山保全協力金」制度の実施について、引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年6月30日

山梨県知事 後藤 斎

静岡県知事 川勝 平太

